

「鹿児島市立病院跡地利活用基本方針」について

市立病院の移転に伴う跡地の利活用については、1の検討に当たっての視点を踏まえ、2のとおり基本方針を定める。

1 検討に当たっての視点

- (1) 本市の各種計画における中央地区のまちづくりの基本的な考え方
 - ・「にぎわいと潤いが共存する都市空間の創出」（第五次鹿児島市総合計画）、
「鹿児島中央駅周辺からいづろ・天文館、本港区、鹿児島駅周辺を連携するにぎわいと交流の都市軸の強化」（かごしま都市マスタープラン）など
 - ・上記に資する利活用を図る。
- (2) 当該跡地周辺において予定されている開発との関係
 - ・交通局跡地、天文館地区での再開発等との機能分担や相乗効果などを考慮する。
- (3) 中央地区における「にぎわい」と「潤い」の共存
 - ・民間開発や市街地再開発事業等による商業・業務機能や居住機能の拡充
 - ・近年における定住人口や児童生徒数の増加
 - ・地区内において「潤い」を生み出す緑の少なさ
 - ・上記の状況を考慮する。

2 基本方針

当該跡地については、“花と緑の回廊”環境創出プロジェクト（第五次鹿児島市総合計画「豊かさ実感リーディングプロジェクト」）の推進、甲突川左岸緑地との連たん性などを考慮し、「中心市街地の回遊性の向上に資する新たな潤いの拠点」となるよう、以下の要素を備えた“緑地”としての利活用を図る。

- (1) 周辺と一体となって鹿児島らしい緑を楽しめる空間
- (2) 癒しや安らぎを与えることのできる空間
- (3) 利便性の高い立地条件を生かした魅力ある空間